

2026年12月期 第2四半期 決算説明会資料 荏 原 (6361)

2026年8月14日

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead  *Beyond*

株式会社 荏原製作所

当決算におけるポイント

1. FY26 1-2Q連結決算サマリ

・連結業績	P5
・セグメント別	P6
・営業利益増減分析	P7
・地域別売上収益	P8

2. FY26 1-2Qセグメント別業績

・精密・電子	P10
・エネルギー	P13
・建築・産業	P14
・インフラ	P15
・環境	P16

3. FY26 業績予想

・セグメント別事業環境認識	P18
・連結業績	P19
・セグメント別	P20
・営業利益増減分析	P23

4. トピックス

・事業トピックス	P25
----------	-----

5. 補足資料

・中東情勢の影響	P28
・連結業績予想（半期別）	P29
・受注高	P30
・売上収益	P31
・営業利益	P32
・受注残高	P33
・地域別売上収益	P34
・サービス＆サポート(S&S)売上収益	P35
・貸借対照表	P36
・キャッシュ・フロー	P37
・資本的支出、減価償却費、研究開発費	P38
・ESG Topics	P39
・その他開示資料	P40

■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY26」は2026年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している

FY26 1-2Q 業績

	実績	前年同期比	計画比
受注高	6,362 億円	+1,849 億円 +41.0% ↗	+592 億円 +10.3% ↗
売上収益	4,907 億円	+419 億円 +9.4% ↗	+127 億円 +2.7% →
営業利益	506 億円	+6 億円 +1.2% →	+11 億円 +2.4% →
営業利益率	10.3%	-0.9pts	-0.1pts
親会社の所有者に 帰属する中間利益	335 億円	+22 億円 +7.1% ↗	+0 億円 +0.2% →

↗は+5%以上、↘は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

FY26 通期業績予想

	今回計画	前期比	旧計画比*
受注高	1 兆 2450 億円	+2,953 億円 +31.1% ↗	+1,750 億円 +16.4% ↗
売上収益	1 兆 530 億円	+947 億円 +9.9% ↗	+330 億円 +3.2% →
営業利益	1,250 億円	+111 億円 +9.8% ↗	- -
営業利益率	11.9%	-	-0.4pts
親会社の所有者に 帰属する当期利益	995 億円	+228 億円 +29.8% ↗	- -

*2026年5月15日公表の計画値

ポイント

FY26 1-2Q 業績 増減はFY25 1-2Q比

- 受注高、売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する中間利益は上期として過去最高を更新
- 受注高は精密・電子、エネルギー等が好調に推移し、連結全体で増加。売上収益及び営業利益は、エネルギーの減収減益を他セグメントがカバーして、連結全体で増収増益

FY26 業績予想

- 受注高は、精密・電子による旺盛な需要の取り込みとエネルギー、建築・産業での堅調さを反映し、連結全体で大幅な上方修正。売上収益も上方修正
- 営業利益は連結全体で据え置き。エネルギーの利益下方修正を他セグメントがカバー(退職金制度の改定に伴う清算損失を見込む)
- 中東情勢の影響は、エネルギーの一時的な影響を除き、全体としては限定的と判断し、業績予想に織り込み済
- 熊本地震は、当社建物・設備に大きな損害は確認されず。被災地域のサプライチェーンに起因する当社業績への影響は確認中

1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ

2. FY26 1-2Q セグメント別業績

3. FY26 業績予想

4. トピックス

5. 補足資料

1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ

連結業績



(単位：億円)	FY25 1-2Q 実績 a	FY26 1-2Q 実績 b	前年同期比	
			増減 b-a	増減率 (b-a)/a
受注高	4,513	6,362	+1,849	+41.0%
売上収益	4,487	4,907	+419	+9.4%
営業利益	500	506	+6	+1.2%
営業利益率	11.2%	10.3%	-0.9pts	
親会社の所有者に帰属する中間利益	313	335	+22	+7.1%
基本的 1 株当たり中間利益（円）	67.84	73.54	+5.69	+8.4%
為替レート*				
対米ドル（円）	148.57	159.30	+10.73	
対ユーロ（円）	162.12	185.30	+23.18	
対人民元（円）	20.49	23.42	+2.93	

* 為替レートは各四半期における期中平均レートを単純平均で表記

FY26 1-2Q 計画 26/05/15 c	計画比	
	増減 b-c	増減率 (b-c)/c
5,770	+592	+10.3%
4,780	+127	+2.7%
495	+11	+2.4%
10.4%	-0.1pts	
335	+0	+0.2%
70.08	+3.46	+4.9%
145.00		
175.00		
20.00		

1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ

セグメント別



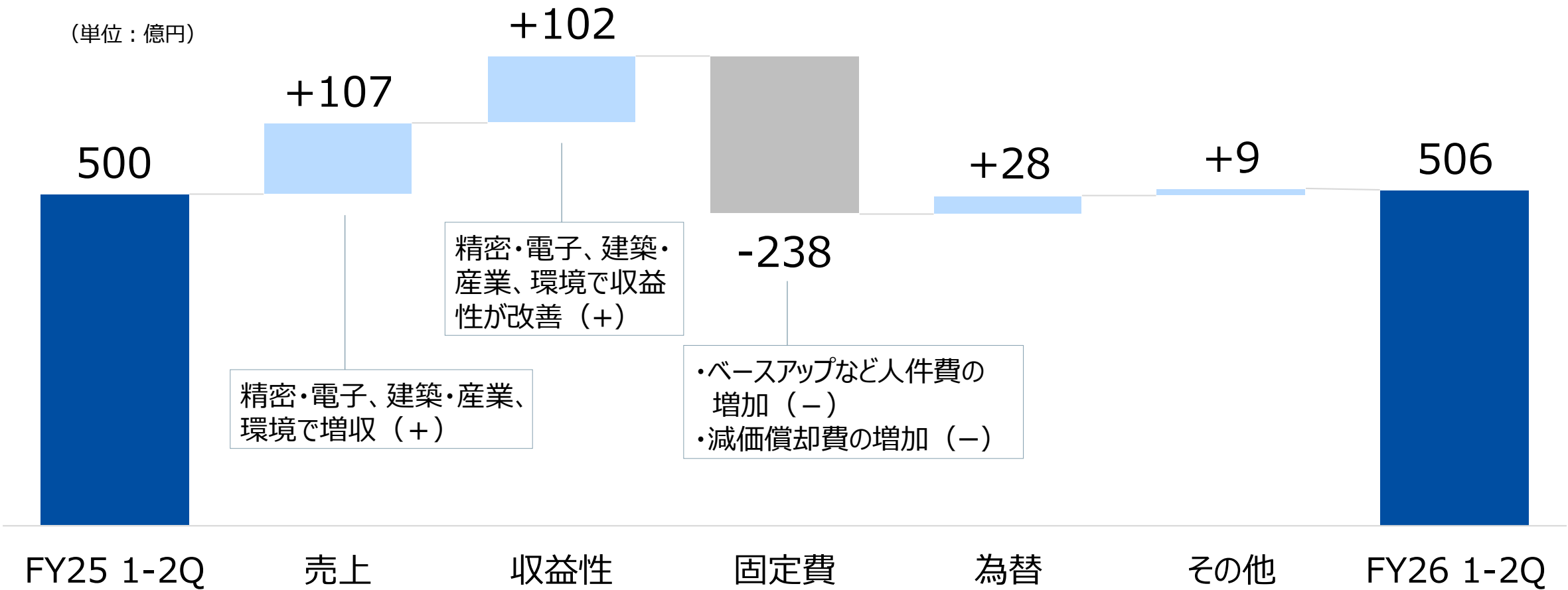
(単位：億円)

(単位：億円)		FY25 1-2Q 実績	FY26 1-2Q 実績	前年同期比		FY26 1-2Q 計画 26/05/15	計画比	
				増減 b-a	増減率 (b-a)/a		増減 b-c	増減率 (b-c)/c
				a	b			c
精密・電子	受注高	1,413	2,674	+1,261	+89.3%	2,000	+674	+33.7%
	売上収益	1,505	1,836	+331	+22.0%	1,800	+36	+2.1%
	営業利益	234	325	+90	+38.7%	280	+45	+16.2%
	営業利益率	15.6%	17.7%	+2.1pts		15.6%	+2.1pts	
エネルギー*	受注高	869	1,125	+256	+29.6%	1,050	+75	+7.2%
	売上収益	1,090	967	-123	-11.3%	970	-2	-0.3%
	営業利益	111	-7	-119	-	30	-37	-
	営業利益率	10.2%	-0.8%	-11.0pts		3.1%	-3.9pts	
建築・産業	受注高	1,255	1,484	+229	+18.3%	1,350	+134	+10.0%
	売上収益	1,138	1,295	+157	+13.8%	1,200	+95	+8.0%
	営業利益	68	83	+14	+20.9%	85	-1	-2.3%
	営業利益率	6.0%	6.4%	+0.4pts		7.1%	-0.7pts	
インフラ	受注高	311	263	-48	-15.6%	280	-16	-6.0%
	売上収益	326	321	-4	-1.4%	340	-18	-5.3%
	営業利益	56	56	-0	-0.1%	55	+1	+1.8%
	営業利益率	17.2%	17.4%	+0.2pts		16.2%	+1.2pts	
環境	受注高	658	808	+149	+22.8%	1,090	-281	-25.9%
	売上収益	420	479	+58	+13.9%	470	+9	+2.0%
	営業利益	44	66	+22	+51.2%	65	+1	+3.0%
	営業利益率	10.5%	14.0%	+3.5pts		13.8%	+0.2pts	
その他、調整	受注高	5	6	+1		-	+6	
	売上収益	5	6	+0		-	+6	
	営業利益	-14	-16	-1		-20	+3	

* FY26 1Qより水素事業の一部の損益をエネルギーに含めて表示



主に増収効果と収益性改善により増益

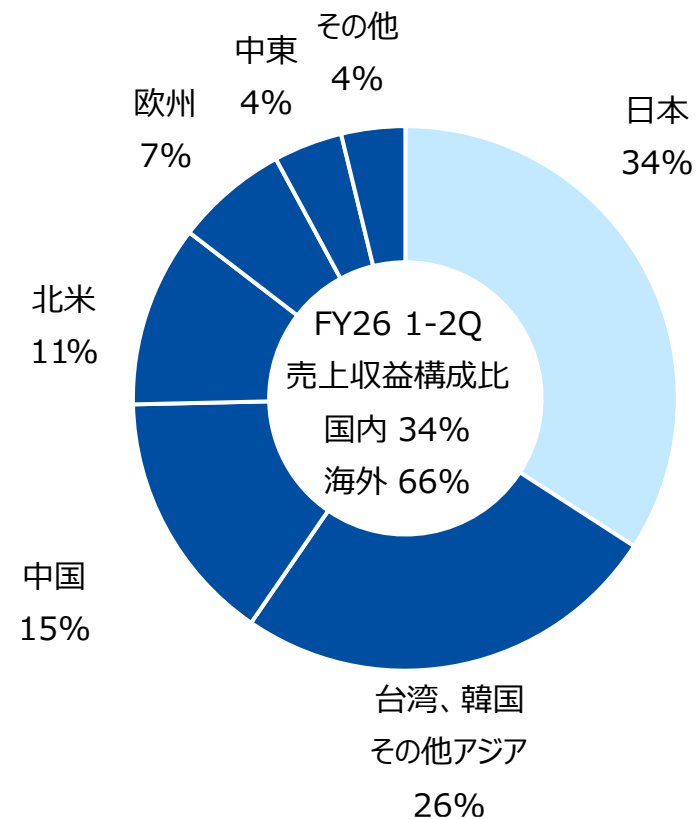
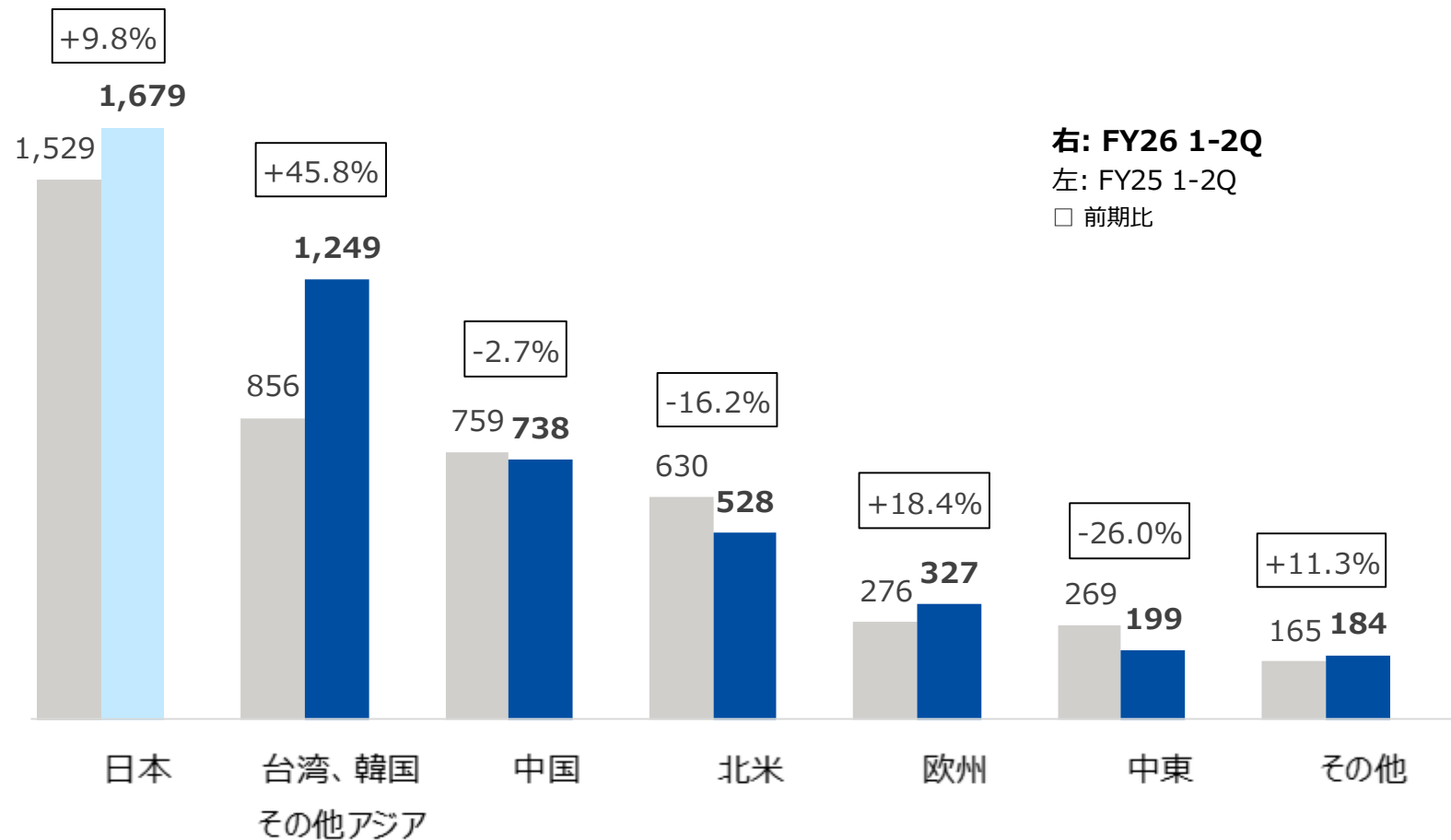


1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ

地域別売上収益



(単位：億円)



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ

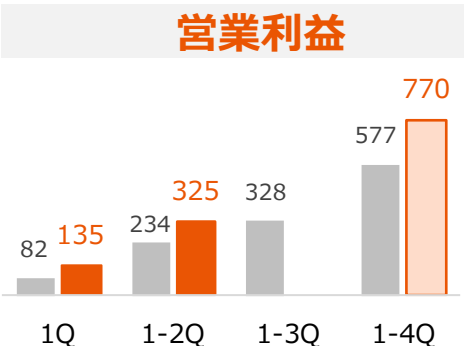
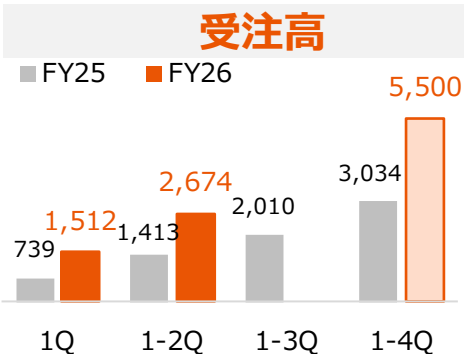
2. FY26 1-2Q セグメント別業績

3. FY26 業績予想

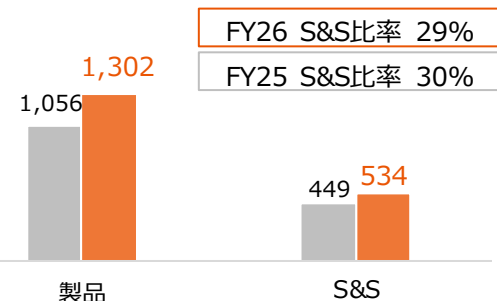
4. トピックス

5. 補足資料

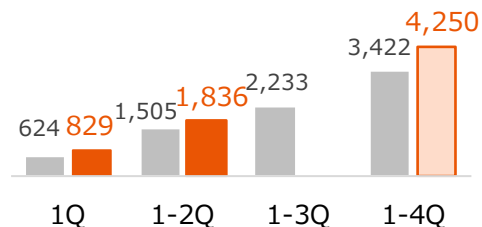
業績推移 (単位: 億円)



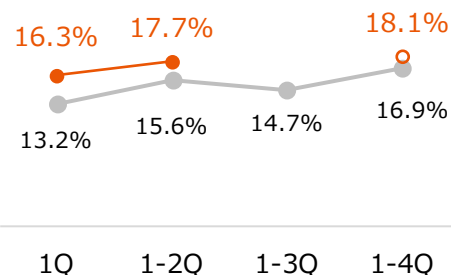
製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



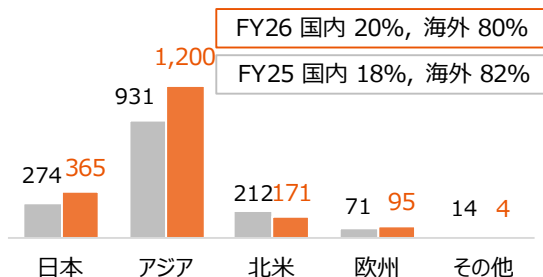
売上収益



営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY25 1-2Q比)

市場環境

- AI向け需要が市場を牽引し、顧客の工場稼働率は高水準で推移。顧客の増産投資も拡大継続
- 中国市場は前年並みの水準を維持

受注高

- 装置およびコンポーネントは、製品・S&Sのいずれも増加
- CMPは製品で大幅に上振れ。ロジック/ファウンドリ、メモリ向け共にAI需要を背景に増加

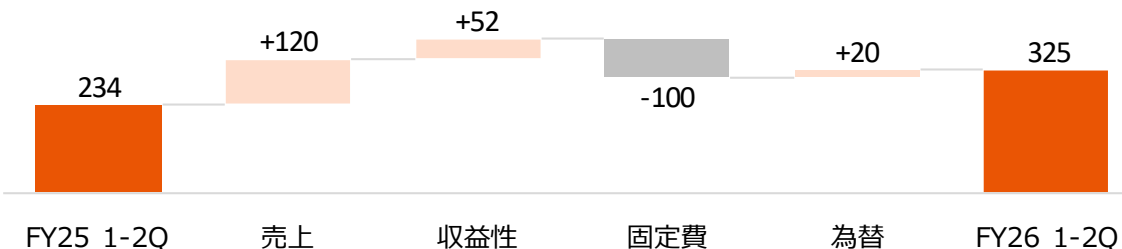
売上収益

- 装置およびコンポーネントは、製品・S&Sのいずれも堅調で増収

営業利益

- 増収効果 (+)
- 案件ミックスや製品粗利率改善により、収益性が向上 (+)
- 人件費や減価償却費、研究開発費などが増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



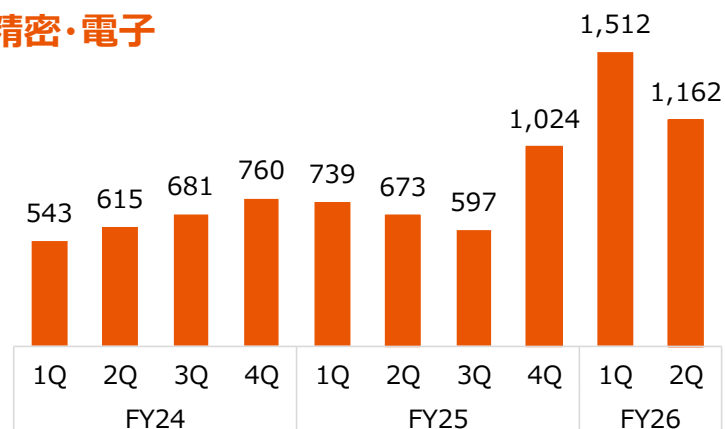
精密・電子 業績推移（四半期）



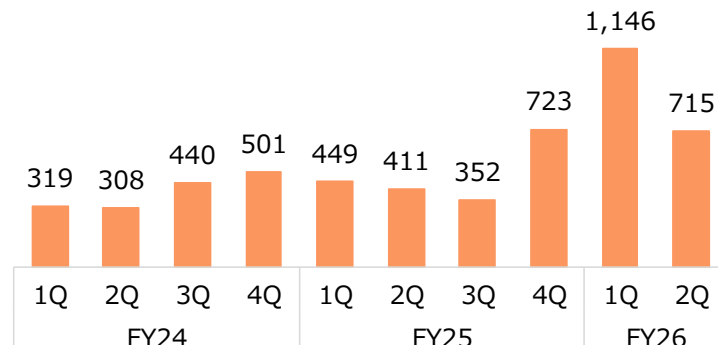
※従来の「CMP」と「その他」を「装置」に統合し、サブセグメントを「装置」「コンポーネント」の2区分へ再編

受注高（単位：億円）

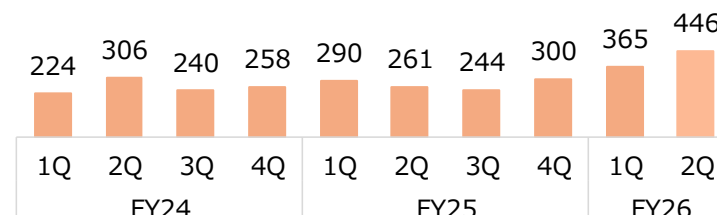
精密・電子



装置

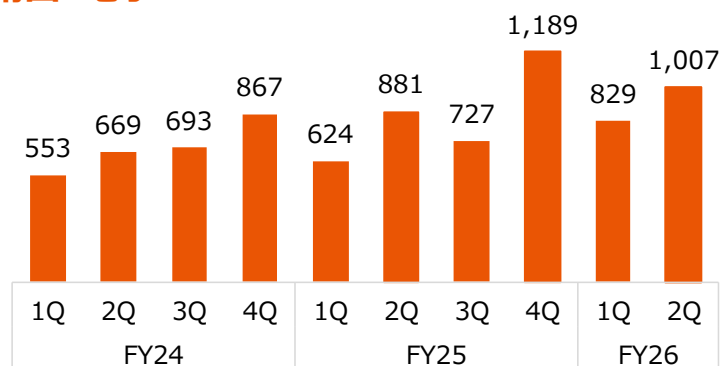


コンポーネント

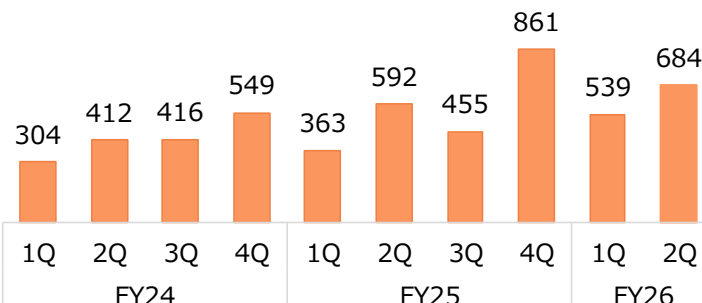


売上収益（単位：億円）

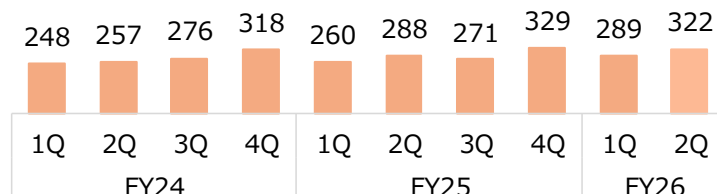
精密・電子



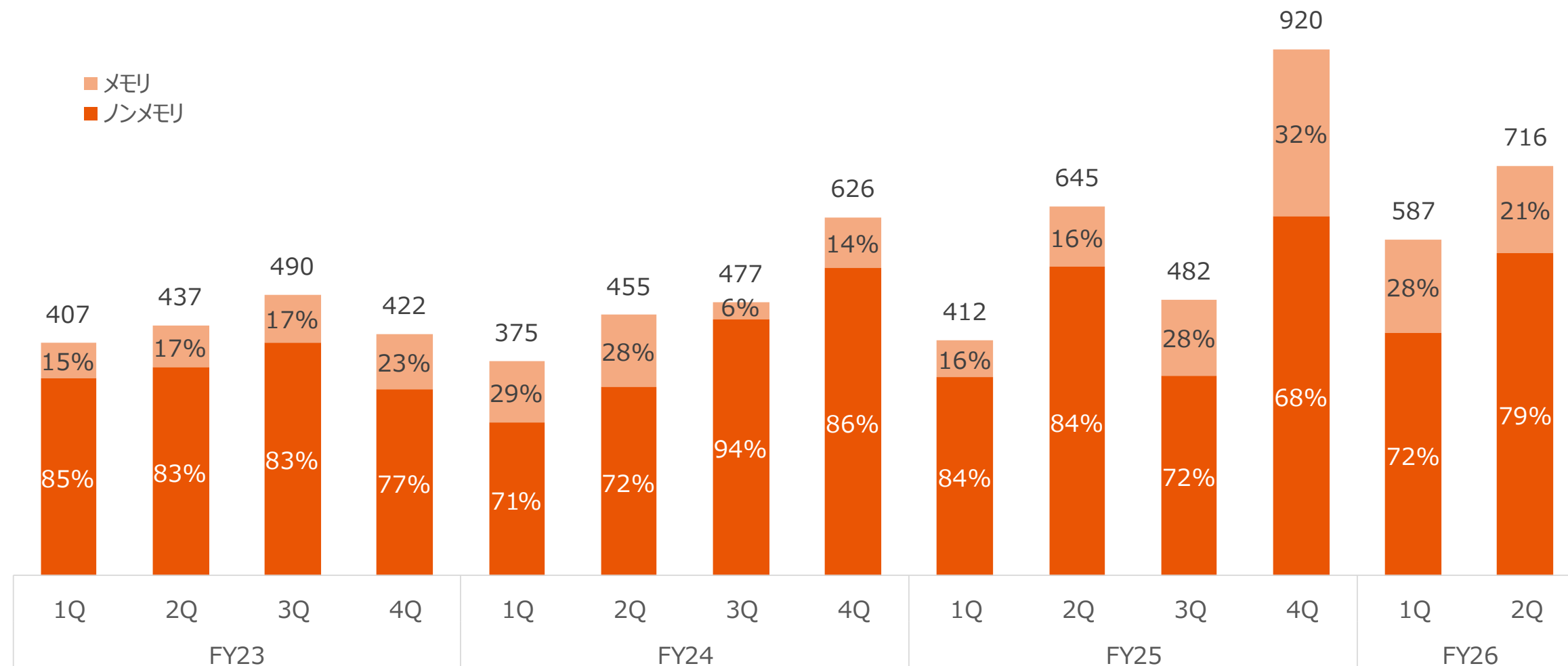
装置



コンポーネント

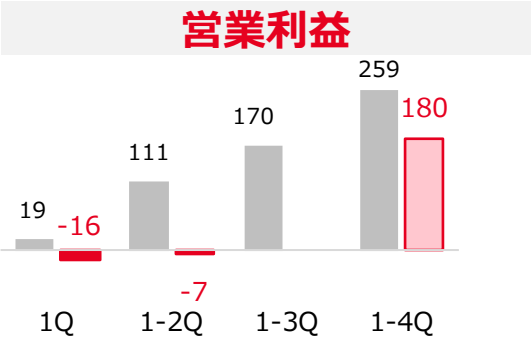
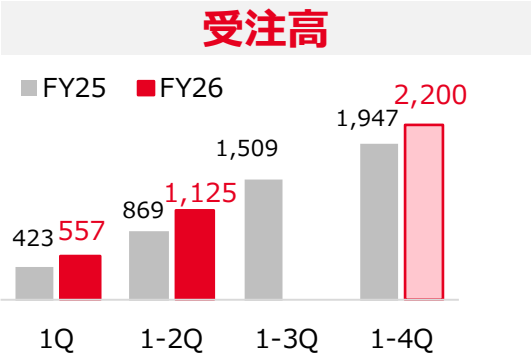


売上収益（単位：億円）

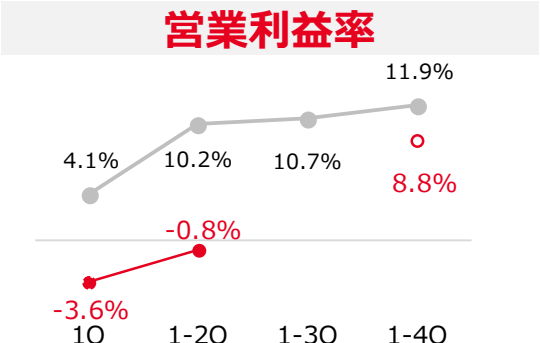
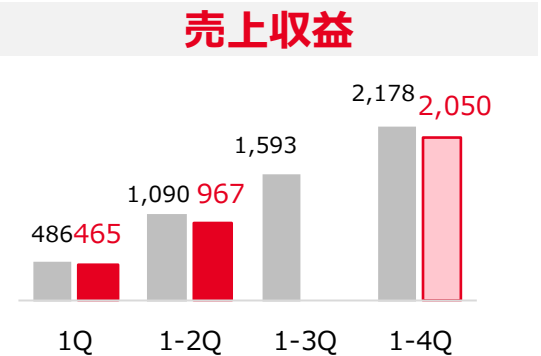
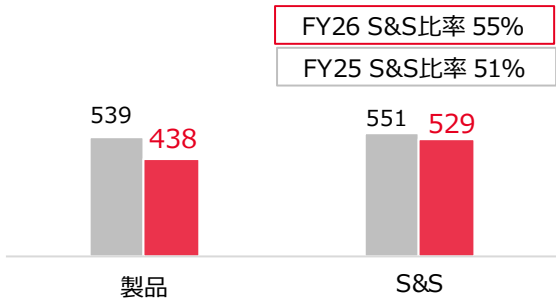


*メモリ、ノンメモリの区分は当社定義による

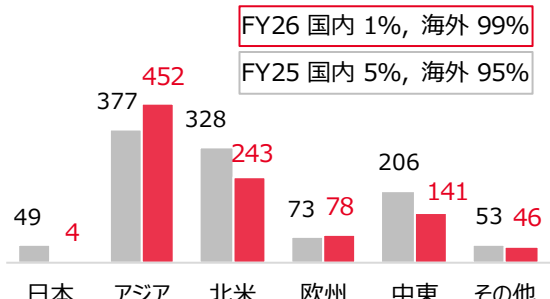
業績推移 (単位: 億円)



製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY25 1-2Q比)

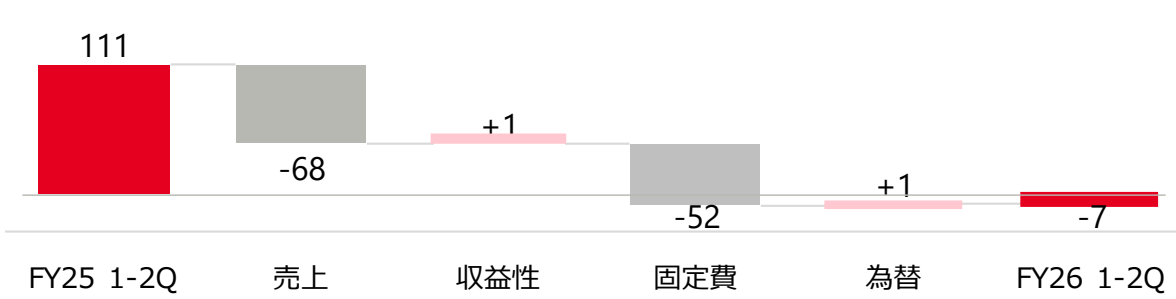
- 市場環境**
- オイル&ガス市場: 需要は回復傾向。中国の石油化学市場は減速。一部、中東情勢の影響により不透明感がある
 - LNG市場: 北米において顧客の投資マインドが回復傾向
 - 電力市場: 中国において堅調に推移

- 受注高**
- 製品はオイル&ガス市場を中心に大型案件の受注により前年同期を上回る。中国では石油化学向けは減少
 - S&Sは前年同期を上回る

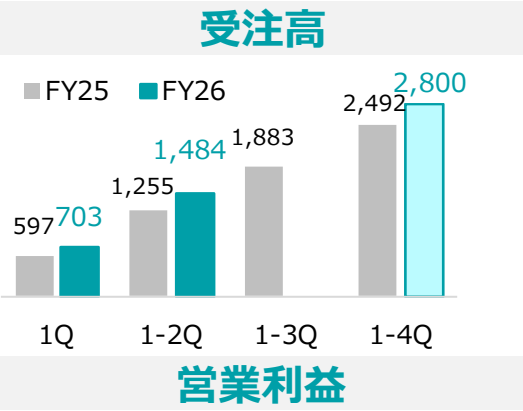
- 売上収益**
- 製品は期初受注残の減少を受けて減収
 - S&Sは微減。中東情勢の影響により、中東への部品出荷・指導員派遣に遅れ

- 営業利益**
- 減収要因 (ー)
 - 中東情勢により部品出荷が遅延 (ー)
 - 水素事業の関連費用の計上により固定費が増加 (ー)
 - 米国ジャネット工場でオペレーションロスが発生 (ー)

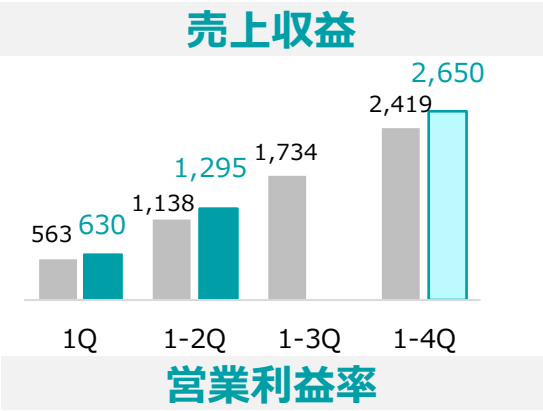
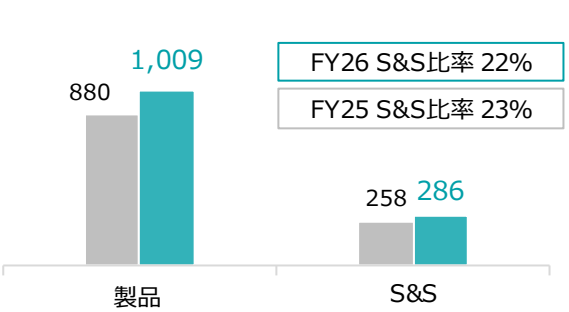
営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



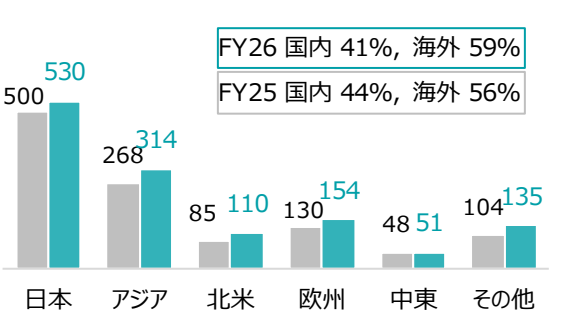
業績推移 (単位：億円)



製品・S&S別売上収益 (単位：億円)



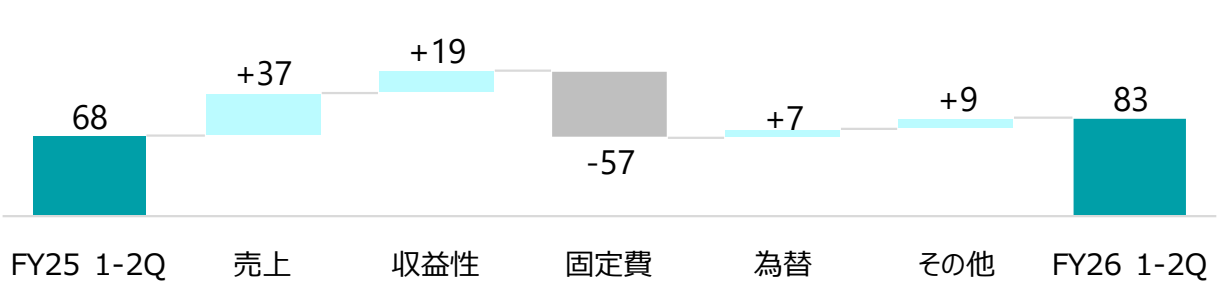
地域別売上収益 (単位：億円)



ポイント (FY25 1-2Q比)

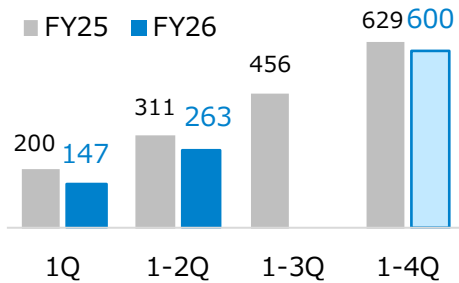
- 市場環境**
- GDP成長率は、北米は回復傾向だが、その他の地域は弱含み
 - 中国の建築設備市場は不動産投資抑制により引き続き低調
 - データセンター・半導体市場の需要が旺盛
- 受注高**
- 国内は製品、S&Sのいずれも増加
 - 北米はデータセンター向けが好調
 - 中国は建築設備市場向けが低迷。一方、産業市場ではデータセンター、半導体関連の受注が増加
- 売上収益**
- 国内は増収
 - 海外は全地域で増収、特に米州が好調
- 営業利益**
- 増収効果 (+)
 - 材料費高騰の影響があるものの、生産性向上や価格改定により収益性が改善 (+)
 - 前期計上の米国顧客倒産による貸倒引当金は今期発生せず (+)
 - 人件費、減価償却費が増加 (-)

営業利益増減要因分析 (単位：億円)

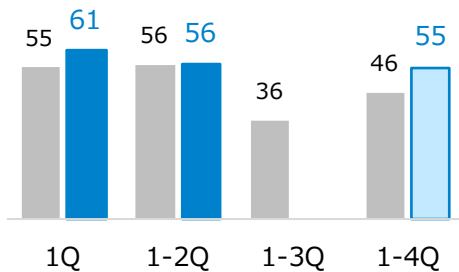


業績推移 (単位: 億円)

受注高



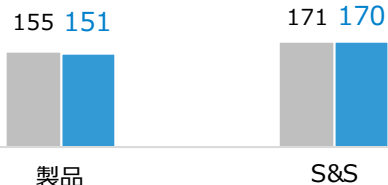
営業利益



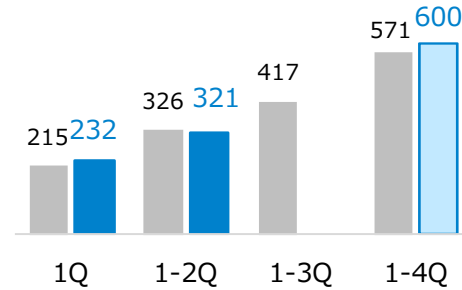
製品・S&S別売上収益 (単位: 億円)

FY26 S&S比率 53%

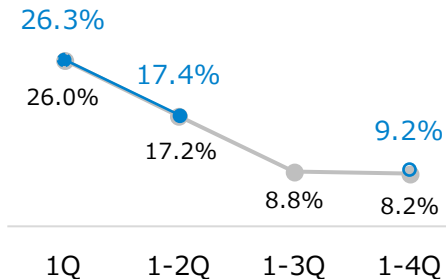
FY25 S&S比率 53%



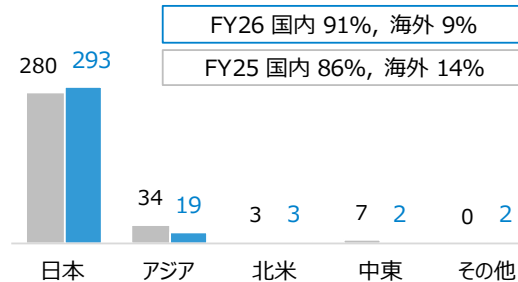
売上収益



営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)



ポイント (FY25 1-2Q比)

市場環境

- 国内の公共ポンプ市場は堅調に推移
- 「第1次国土強靱化実施中期計画」により、防災・減災および老朽化対策への投資が堅調に推移

受注高

- 国内: 公共向けで一部案件の遅れ、大型案件を複数受注した前年同期を下回る
- 海外: 前年同期並み

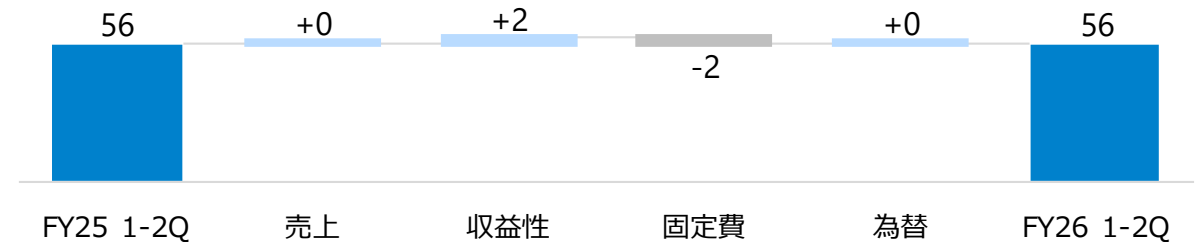
売上収益

- 国内公共向けを中心に堅調に推移し、前年同期並み

営業利益

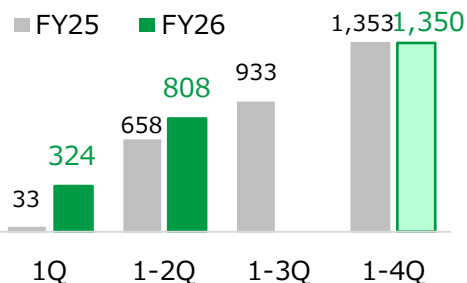
- 完工案件の増加により収益性が改善 (+)

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)

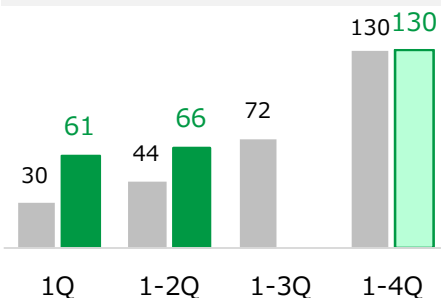


業績推移 (単位: 億円)

受注高



営業利益



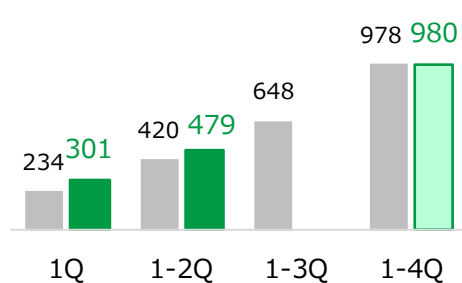
EPC・O&M別売上収益 (単位: 億円)

FY26 O&M比率 82%

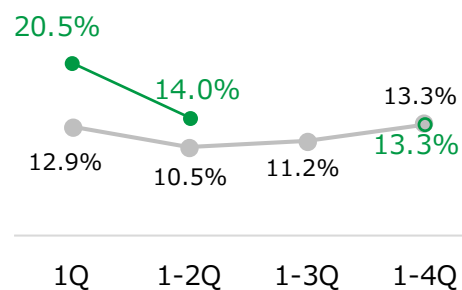
FY25 O&M比率 76%



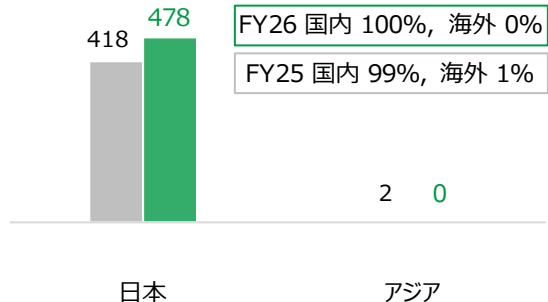
売上収益



営業利益率



地域別売上収益 (単位: 億円)



FY26 国内 100%, 海外 0%

FY25 国内 99%, 海外 1%

ポイント (FY25 1-2Q比)

市場環境

- EPC: 国内公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は例年どおり安定的に推移
- O&M: 既存施設のO&Mの発注量は例年どおり推移

受注高

- 大型案件を2件受注

FY25 1-2Q	FY26 1-2Q
・ごみ処理施設延命化: 1件	・ごみ処理施設DBO: 1件
・ごみ処理施設改修・長期包括契約: 1件	・ごみ処理施設延命化: 1件

*DBO: プラントの設計・調達・建設に加え、建設後の運転管理・メンテナンスを一定期間請負

売上収益

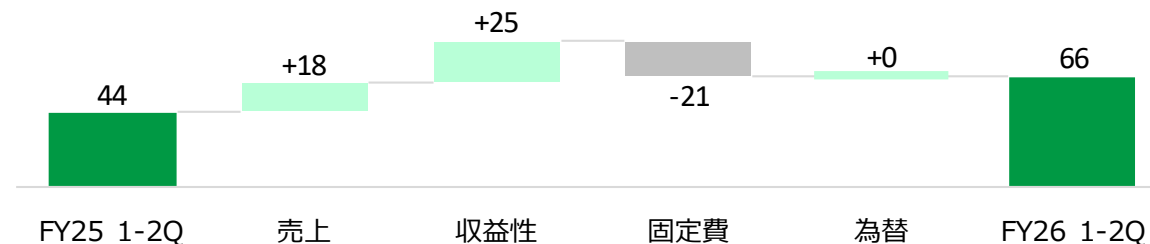
- 延命化とメンテナンスを中心にオペレーション & メンテナンス (O&M) が増加

営業利益

- 増収効果 (+)
- O&M内のミックス変化により収益性が改善 (+)
- EPCの完工案件のコンティンジェンシーの戻し入れ等により収益性が改善(+)

*EPC: プラントの設計・調達・建設

営業利益増減要因分析 (単位: 億円)



1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY26 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY26 業績予想**
4. トピックス
5. 補足資料

セグメント	主な対面市場	市場別・地域別トレンド	当社の市場見立て FY26（1年間）*1
精密・電子	半導体製造	- 市場全般としては、AI関連を中心に拡大基調 - ロジック/ファウンドリ、メモリの投資が拡大 - 顧客工場の稼働率は引き続き先端デバイスを中心に高水準で推移	 グローバル WFE*2：18%以上成長見込み
エネルギー	石油・ガス 新エネルギー 電力	- 製品分野は、石油・ガス市場、LNG市場とも需要が堅調に推移することが見込まれるが、中東情勢による影響を注視 - サービス分野は、メンテナンス需要は通常レベルに戻る見込み。中東向けの部品の出荷やサービス供与に不透明感が残る - 脱炭素関連市場は、アンモニア、水素、CCUS等を中心に商用化局面へ移行が進む	 グローバル LNG：6%台成長見込み エチレン：3%台成長見込み
建築・産業	建築設備・ 産業設備	- 欧州は、建設費、労働コスト、エネルギーコストの上昇により設備投資が低迷 - 中国は、建築設備市場及び産業市場（データセンターや半導体除く）は引き続き低迷 - 米国は、政策金利の先行き不透明感から投資の慎重姿勢が続いているが、データセンター需要は増加見込み - 中東情勢に伴う物流混乱や資材価格への影響が引き続きあるものの限定的	 海外 2%台成長見込み
		- 建築設備市場は、建設コストの高止まりや人手不足により工事の先送り等は継続 - 産業市場は、設備投資の需要が継続	 国内 横ばい
インフラ	水インフラ 換気	- アジアの人口増に伴う水需要や、北米の老朽化施設の整備等が継続 - 地球温暖化、異常気象により世界各地で洪水被害が年々増加し、特に東南アジアや中東において排水ポンプの整備需要を見込む	 海外 4%台成長見込み
		国土強靱化計画などにより安定的に推移	 国内 横ばい
環境	固形廃棄物処理	- 公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は、概ね例年どおり推移 - 老朽化施設の延命化需要が増加	 国内 横ばい

受注高と売上収益を上方修正、営業利益と親会社所有者に帰属する当期利益は据え置き

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-4Q						
	FY25 実績 a	FY26 旧計画 26/05/15 b	FY26 計画 26/08/14 c	前期比		旧計画比	
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b
受注高	9,496	10,700	12,450	+2,953	+31.1%	+1,750	+16.4%
売上収益	9,582	10,200	10,530	+947	+9.9%	+330	+3.2%
営業利益	1,138	1,250	1,250	+111	+9.8%	-	-
営業利益率	11.9%	12.3%	11.9%	-	-	-0.4pts	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	766	995	995	+228	+29.8%	-	-
ROIC	11.9%	11.8%	11.8%	-	-	-	-
ROE	15.6%	18.8%	18.8%	-	-	-	-
基本的 1 株当たり当期利益 (円)	166.31	217.91	217.93	+51.62	31.0%	+0.02	+0.01%
1株当たり年間配当金 (円)	59.0	66.0	66.0	+7.0	11.9%	-	-
為替レート*							
対米ドル (円)	149.63	145.00	145.00	-	-	-	-
対ユーロ (円)	168.94	175.00	175.00	-	-	-	-
対人民元 (円)	20.83	20.00	20.00	-	-	-	-

* FY26実績為替レートは各四半期における期中平均レートを単純平均で表記。FY26予想は年間想定レートを表記

3. FY26 業績予想 セグメント別



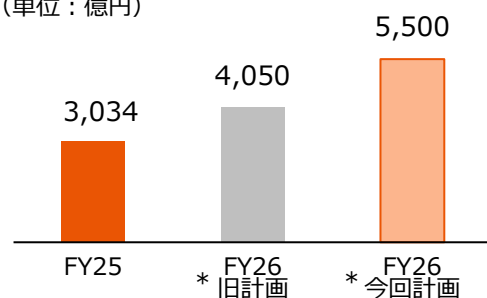
(単位：億円) 発表日(年/月/日)		1-4Q						
		FY25 実績 a	FY26 旧計画 26/05/15 b	FY26 計画 26/08/14 c	前期比		旧計画比	
					増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b
精密・電子	受注高	3,034	4,050	5,500	+2,465	+81.3%	+1,450	+35.8%
	売上収益	3,422	4,000	4,250	+827	+24.2%	+250	+6.3%
	営業利益	577	735	770	+192	+33.3%	+35	+4.8%
	営業利益率	16.9%	18.4%	18.1%	+1.2pts		-0.3pts	
エネルギー*	受注高	1,947	2,100	2,200	+252	+12.9%	+100	+4.8%
	売上収益	2,178	2,050	2,050	-128	-5.9%	-	-
	営業利益	259	210	180	-79	-30.6%	-30	-14.3%
	営業利益率	11.9%	10.2%	8.8%	-3.1pts		-1.4pts	
建築・産業	受注高	2,492	2,650	2,800	+307	+12.3%	+150	+5.7%
	売上収益	2,419	2,600	2,650	+230	+9.5%	+50	+1.9%
	営業利益	152	190	190	+37	+24.6%	-	-
	営業利益率	6.3%	7.3%	7.2%	+0.9pts		-0.1pts	
インフラ	受注高	629	600	600	-29	-4.7%	-	-
	売上収益	571	600	600	+28	+5.0%	-	-
	営業利益	46	55	55	+8	+17.5%	-	-
	営業利益率	8.2%	9.2%	9.2%	+1.0pts		-	
環境	受注高	1,353	1,300	1,350	-3	-0.3%	+50	+3.8%
	売上収益	978	950	980	+1	+0.1%	+30	+3.2%
	営業利益	130	95	130	-0	-	+35	+36.8%
	営業利益率	13.3%	10.0%	13.3%	-		+3.3pts	
その他、調整	受注高	38	0	0	-38	-100.0%	-	-
	売上収益	12	0	0	-12	-100.0%	-	-
	営業利益	-28	-35	-75	-46	-	-40	-

セグメント別（精密・電子）



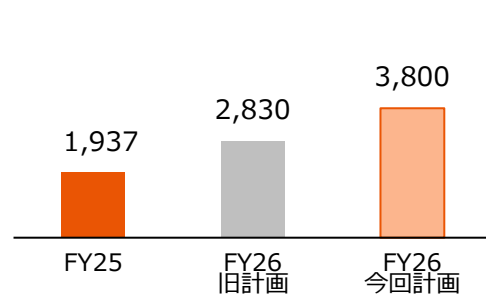
受注高

(単位：億円)

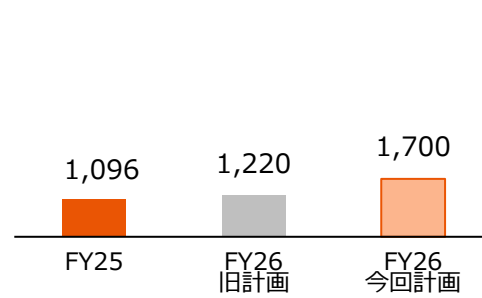


精密・電子

装置

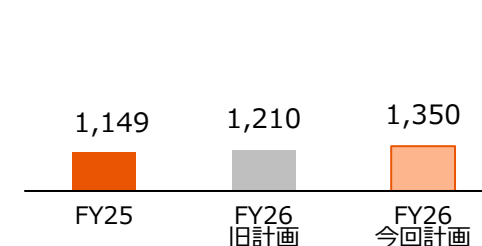
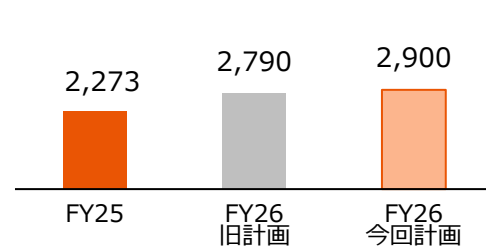
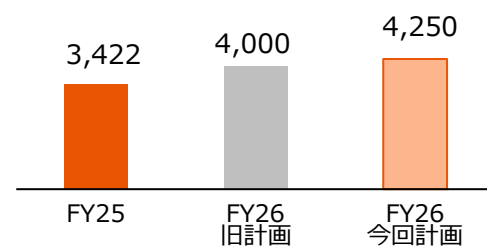


コンポーネント



- 顧客の工場稼働率は高水準で推移。ロジック/ファウンドリ、メモリにおいて投資継続が見込まれる
- FY26の市場成長率（WFE）の見立ては、従来の10%以上から18%以上に引き上げ
- 通期計画は4,050から5,500億円に引き上げ

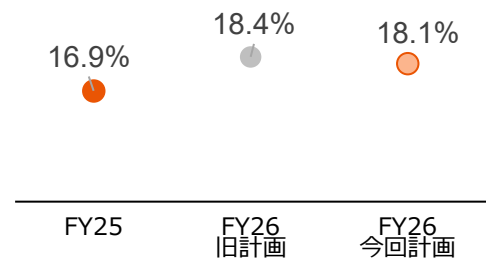
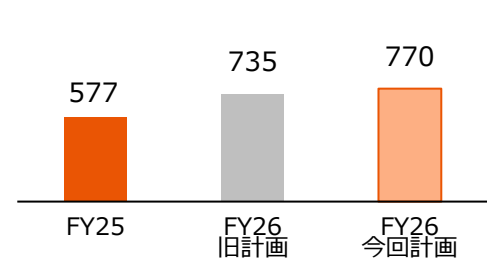
売上収益



- 通期計画は4,000から4,250億円に引き上げ
- ロジック/ファウンドリ、メモリ向けともに増加

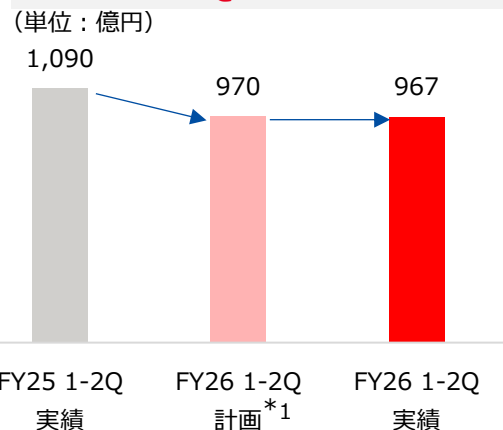
営業利益

精密・電子

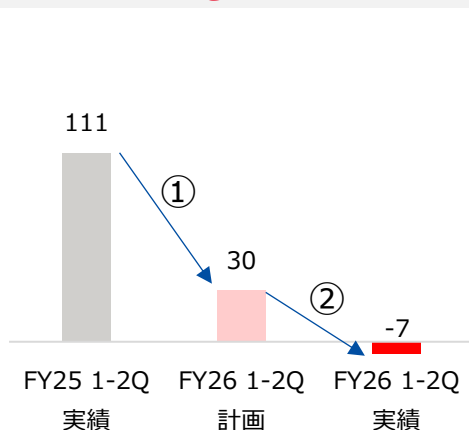


- 営業利益は735から770億円に引き上げ
- 売上の上方修正に伴い、営業利益を上方修正
- 案件ミックスにより営業利益率は18.4から18.1%へ
- 熊本地震によるサプライチェーン影響は確認中

1-2Q売上収益



1-2Q営業利益

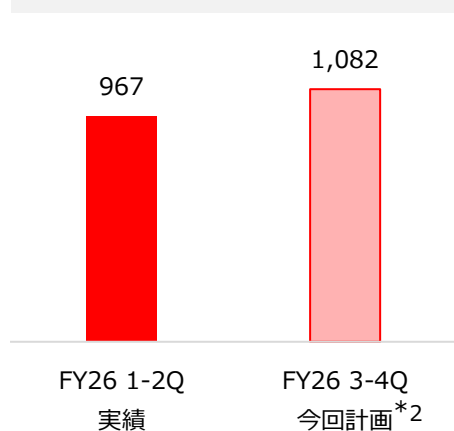


(1-2Qの減益要因)

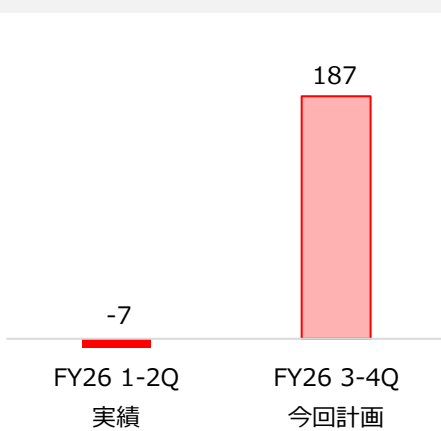
- ① 前年同期からの減益要因 (FY25 1-2Q実績 → FY26 1-2Q計画)
- 減収要因
 - 水素事業の関連費用の計上により固定費が増加
 - 収益性の高いS&Sのフィールドサービスが今期は無し
 - 中東情勢により部品出荷に遅延
- ② 計画に対する下振れ要因 (FY26 1-2Q計画 → FY26 1-2Q実績)
- 米国ジャネット工場でのオペレーションロスが発生
 - 中東情勢影響の追加発生

3-4Q業績見通し

売上収益



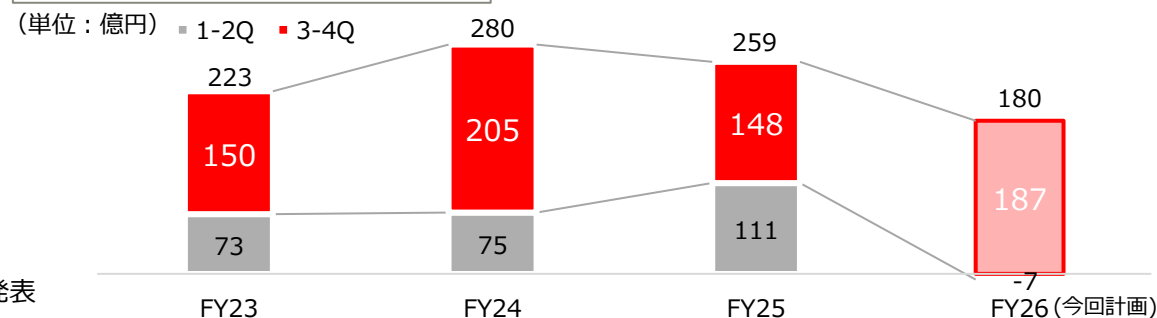
営業利益



(3-4Q業績の見通し ※FY26 1-2Q実績 → FY26 3-4Q計画)

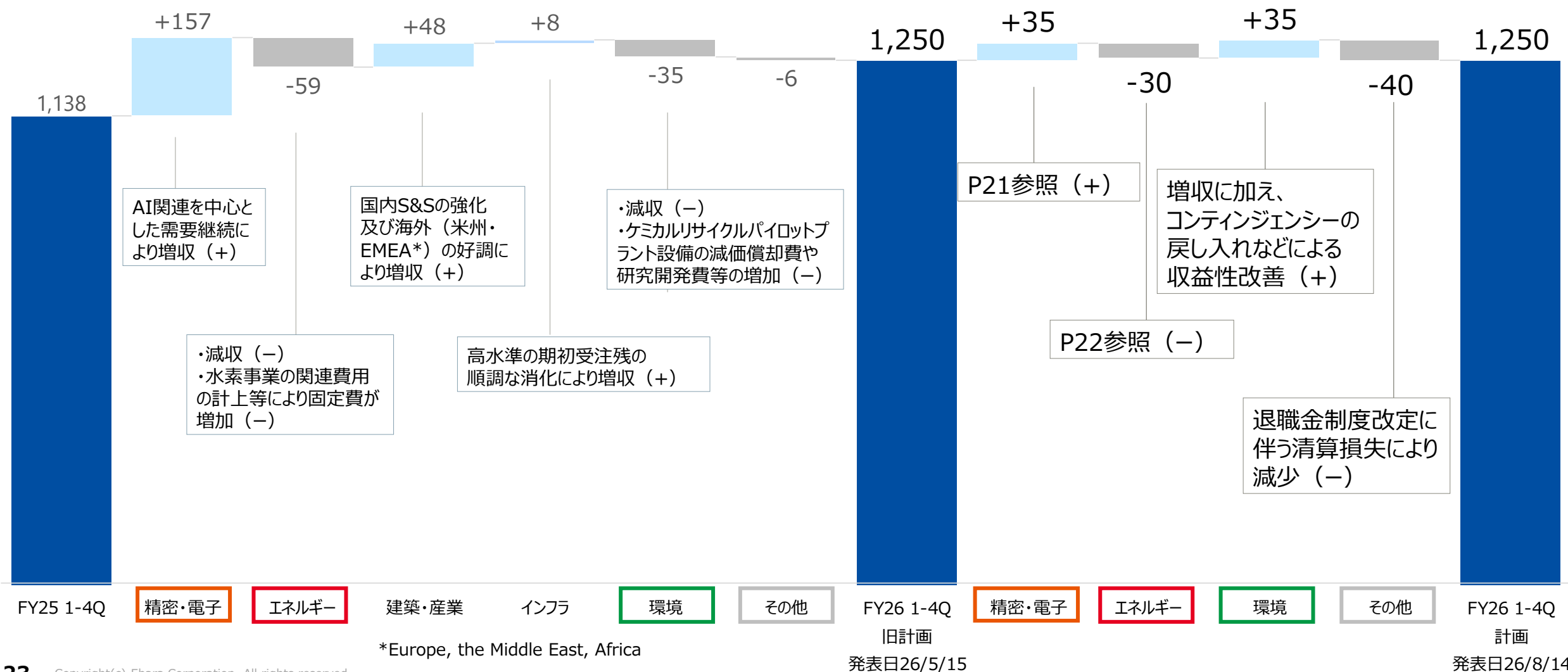
- 営業利益は全般的に下期偏重の傾向があり、今期も同様の傾向
 - 下期はS&S比率が全般的に高まる傾向
- <FY26 3-4Q特有の増益要因>
- 2Q末時点で受注残は積み上がっており、下期は上期より増収増益を想定
 - 米国ジャネット工場でのオペレーションロスは上期で収束の目処
 - 中東市場で遅れがあったS&S案件が、下期に順次計上される予定

営業利益1-2Q・3-4Q推移



営業利益増減分析

成長投資、基盤投資を戦略的に進め、過去最高水準の営業利益額を見込む



1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY26 1-2Q セグメント別業績
3. FY26 業績予想
- 4. トピックス**
5. 補足資料

精密・電子

■ 高付加価値

サブファブ過密化・電力消費課題の解決

従来比で筐体高さを50%削減した排ガス処理装置「LA+」とドライ真空ポンプの一体型システム「EVIS」を展開（2025年度「真空コンポーネント大賞」受賞）



パネルレベルパッケージング（PLP）への対応

今後の成長が期待される後工程において、大面積パネルへの高密度配線形成による、パネルCMP・めっき工程へのソリューションを提供

<パネルレベルパッケージング対応CMP装置 EAPI型>

従来の前工程向けのCMPの技術を応用し、高い平坦性を実現したパネルレベルパッケージング対応CMP



<パネルめっき装置 UFP型>

角基板にバンブ、再配線、ビア等の微細パターンを形成する電解めっき装置



■ 収益性向上

S&Sビジネスの拡大

インストールベースの増加を背景に、S&Sビジネスを拡大。ドライ真空ポンプのオーバーホール工場について、2026年には台湾と韓国で拠点の拡充を予定



エネルギー

■ エネルギーの安定供給（オイル&ガス、LNG）

- ・グローバルのLNG需要の拡大を背景に、電動モータ駆動の大型コンプレッサ(e-LNG)の需要を取り込み
- ・米国ジャネット工場の生産設備近代化・自動化を推進中



大規模電力設備の増強



生産プロセスの自動化

- ・FY26上期にアップストリーム向けの大型案件を受注。
顧客の現地生産比率増加に対応し、中東地域及びガスプロセスにおいて受注を拡大

■ 脱炭素社会のリード（水素向け）

- ・液体水素受入れ基地向けの液体水素昇圧ポンプ、水素ガス移送ブロー案件を受注
- ・世界初*の液化水素運搬船用カーゴポンプ型式承認取得
- ・空港インフラ向け液体水素ポンプを受注
- ・2026年中に実スケール商用製品試験・開発センター竣工予定

■ 競争力の強化（S&S拡大）

- ・米国ヒューストンのS&S旗艦拠点の拡充
米国地域のLNG、石油化学、石油精製の顧客を強固にサポートするとともに、サステナビリティ領域も推進
- ・UAEアブダビにS&S拠点を新たに建設中
カスタムポンプとコンプレッサ・タービンの豊富な納入実績のある中東地域のS&S需要の取込みを拡大

◆ Manufacturing Locations ● Service/Sales Locations



1. FY26 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY26 1-2Q セグメント別業績
3. FY26 業績予想
4. トピックス
- 5. 補足資料**

中東情勢の影響（2026年7月末時点の情報に基づく）

- 主にエネルギー、建築・産業セグメントで影響が見込まれるものの、現時点で業績への影響は限定的
- 前提として、2026年12月末まで現状の緊張状態および物流制約が継続すると想定。直接影響額は業績予想に織り込み済
- 今後の情勢によってさらなる影響が出る可能性もあり、引き続き状況を注視

セグメント	主な影響 発表日（年/月/日）	営業利益への直接影響額（億円）			
		FY26 1-2Q		FY26通期	
		予想 (2026/5/15)	実績	予想 (2026/5/15)	予想 (2026/8/14)
精密・電子	・材料費および物流費の増加	-1	-1	-3	-2
エネルギー	・中東での上期S&S予定案件の売上遅延(下期回復見込み) ・物流の停滞、物流コストの増加 ・中東での下期S&S予定案件の売上遅延	-14	-16	0	-10
建築・産業	・原材料・エネルギー価格の高騰 ・リードタイム延伸による売上遅延	-5	-5	-10	-10
インフラ	・影響無し	-1	0	0	0
環境	・建設現場での部材不足（樹脂等）による工期延期	0	0	-1	-1
	連結合計	-21	-22	-14	-23

連結業績予想（半期別）



(単位：億円) 発表日(年/月/日)		FY24		FY25		FY26	
		1-2Q	3-4Q	1-2Q	3-4Q	1-2Q	3-4Q 計画 26/08/14
連結合計	受注高	3,996	4,609	4,513	4,983	6,362	6,087
	売上収益	3,945	4,721	4,487	5,095	4,907	5,622
	営業利益	399	580	500	638	506	743
	営業利益率	10.1%	12.3%	11.2%	12.5%	10.3%	13.2%
精密・電子	受注高	1,159	1,441	1,413	1,621	2,674	2,825
	売上収益	1,222	1,561	1,505	1,917	1,836	2,413
	営業利益	192	309	234	343	325	444
	営業利益率	15.8%	19.8%	15.6%	17.9%	17.7%	18.4%
エネルギー	受注高	955	1,272	869	1,078	1,125	1,074
	売上収益	926	1,178	1,090	1,088	967	1,082
	営業利益	75	205	111	148	-7	187
	営業利益率	8.1%	17.4%	10.2%	13.6%	-0.8%	17.4%
建築・産業	受注高	1,236	1,208	1,255	1,237	1,484	1,315
	売上収益	1,147	1,234	1,138	1,281	1,295	1,354
	営業利益	78	25	68	84	83	106
	営業利益率	6.8%	2.0%	6.0%	6.6%	6.4%	7.9%
インフラ	受注高	287	318	311	318	263	336
	売上収益	258	253	326	245	321	278
	営業利益	30	6	56	-10	56	-1
	営業利益率	11.9%	2.4%	17.2%	-4.1%	17.4%	-0.4%
環境	受注高	352	363	658	695	808	541
	売上収益	383	491	420	558	479	500
	営業利益	36	48	44	86	66	63
	営業利益率	9.4%	9.8%	10.5%	15.4%	14.0%	12.6%
その他、調整	受注高	5	7	5	33	6	-6
	売上収益	5	6	5	7	6	-6
	営業利益	-13	-13	-14	-14	-16	-58

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY25				FY26			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	3-4Q 計画 2026/08/14	1-4Q 計画 2026/08/14
連結合計	1,998	4,513	6,801	9,496	3,249	6,362	6,087	12,450
精密・電子	739	1,413	2,010	3,034	1,512	2,674	2,825	5,500
装置	449	861	1,214	1,937	1,146	1,862	1,937	3,800
コンポーネント	290	551	796	1,096	365	811	888	1,700
エネルギー	423	869	1,509	1,947	557	1,125	1,074	2,200
建築・産業	597	1,255	1,883	2,492	703	1,484	1,315	2,800
インフラ	200	311	456	629	147	263	336	600
環境	33	658	933	1,353	324	808	541	1,350
その他	2	5	8	38	3	6	-6	-

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY25				FY26			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	3-4Q 計画 2026/08/14	1-4Q 計画 2026/08/14
連結合計	2,126	4,487	6,635	9,582	2,463	4,907	5,622	10,530
精密・電子	624	1,505	2,233	3,422	829	1,836	2,413	4,250
装置	363	956	1,412	2,273	539	1,224	1,675	2,900
コンポーネント	260	548	820	1,149	289	612	737	1,350
エネルギー	486	1,090	1,593	2,178	465	967	1,082	2,050
建築・産業	563	1,138	1,734	2,419	630	1,295	1,354	2,650
インフラ	215	326	417	571	232	321	278	600
環境	234	420	648	978	301	479	500	980
その他	3	5	9	12	3	6	-6	-

営業利益



(単位：億円)
発表日(年/月/日)

	FY25				FY26			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	3-4Q 計画 2026/08/14	1-4Q 計画 2026/08/14
連結合計	226	500	695	1,138	267	506	743	1,250
精密・電子	82	234	328	577	135	325	444	770
エネルギー	19	111	170	259	-16	-7	187	180
建築・産業	43	68	105	152	44	83	106	190
インフラ	55	56	36	46	61	56	-1	55
環境	30	44	72	130	61	66	63	130
その他、調整	-6	-14	-19	-28	-18	-16	-58	-75

受注残高



(単位：億円)
発表日(年/月/日)

	FY24	FY25				FY26		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	4Q 計画 2026/08/14
連結合計	9,171	8,868	9,005	9,196	9,120	9,933	10,592	11,040
精密・電子	1,879	1,955	1,775	1,651	1,515	2,176	2,335	2,765
エネルギー	2,390	2,220	2,008	2,208	2,137	2,299	2,363	2,313
建築・産業	687	699	764	808	757	839	955	907
インフラ	769	750	748	807	834	745	769	834
環境	3,444	3,241	3,707	3,720	3,846	3,872	4,167	4,216
その他	1	1	1	0	27	1	1	1

地域別売上収益

(単位：億円)

	FY25				FY26			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q		
						構成比		構成比
精密・電子	624	1,505	2,233	3,422	829	100%	1,836	100%
日本	113	274	436	626	171	21%	365	20%
アジア（日本除く）	352	931	1,407	2,268	533	64%	1,200	65%
北米	108	212	268	377	82	10%	171	9%
欧州	44	71	110	138	39	5%	95	5%
その他	5	14	9	12	1	0%	4	0%
エネルギー	486	1,090	1,593	2,178	465	100%	967	100%
日本	19	49	68	85	15	3%	4	1%
アジア（日本除く）	165	377	564	797	216	47%	452	47%
北米	148	328	487	589	121	26%	243	25%
欧州	24	73	109	178	34	7%	78	8%
中東	100	206	286	408	53	12%	141	15%
その他	26	53	76	117	23	5%	46	5%
建築・産業	563	1,138	1,734	2,419	630	100%	1,295	100%
日本	270	500	739	1,049	286	45%	530	41%
アジア（日本除く）	116	268	426	587	138	22%	314	24%
北米	45	85	132	182	52	8%	110	9%
欧州	59	130	197	262	69	11%	154	12%
中東	20	48	70	96	19	3%	51	4%
その他	50	104	166	239	64	10%	135	10%
インフラ	215	326	417	571	232	100%	321	100%
日本	200	280	342	468	222	96%	293	91%
アジア（日本除く）	9	34	59	76	8	3%	19	6%
北米	1	3	6	16	1	1%	3	1%
中東	3	7	9	10	0	0%	2	1%
環境	234	420	648	978	301	100%	479	100%
日本	233	418	642	961	301	100%	478	100%
アジア（日本除く）	1	2	5	17	0	0%	0	0%

サービス&サポート(S&S)売上収益



(単位：億円)

		FY25				FY26	
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
精密・電子	S&S売上収益	212	449	695	970	242	534
	S&S比率	34%	30%	31%	28%	29%	29%
エネルギー	S&S売上収益	243	551	825	1,173	243	529
	S&S比率	50%	51%	52%	54%	52%	55%
建築・産業	S&S売上収益	135	258	375	546	145	286
	S&S比率	24%	23%	22%	23%	23%	22%
インフラ	S&S売上収益	118	171	204	268	125	170
	S&S比率	55%	53%	49%	47%	54%	53%
環境	O&M売上収益	181	321	498	753	237	394
	O&M比率	77%	76%	77%	77%	79%	82%

貸借対照表

(単位：億円)	FY25 2Q a	FY25 4Q b	FY26 2Q c	増減 c-a
資産合計	9,918	10,822	11,020	+1,101
流動資産	6,580	7,173	7,207	+627
現金及び現金同等物	1,637	1,434	1,530	-107
営業債権	2,493	3,324	3,084	+590
棚卸資産	2,093	1,976	2,104	+10
その他流動資産	355	437	488	+133
非流動資産	3,337	3,648	3,812	+474
負債合計	5,010	5,605	5,582	+571
営業債務	1,371	1,252	1,245	-126
有利子負債	1,483	2,247	2,282	+799
その他負債	2,155	2,105	2,053	-101
資本合計	4,907	5,216	5,437	+529
親会社所有者帰属持分	4,795	5,088	5,319	+523
その他資本	112	127	118	+6
親会社所有者帰属持分比率	48.4%	47.0%	48.3%	-0.1pts
D/Eレシオ	0.31	0.44	0.43	+0.12

キャッシュ・フロー



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q			1-4Q		
	FY25	FY26	前期比	FY25	FY26 計画	前期比
	a	b	増減 b-a	c	26/08/14 e	増減 e-c
営業活動CF	547	754	+207	407	1,000	+592
投資活動CF	-444	-447	-2	-912	-550	+362
フリーCF	102	307	+205	-504	450	+954
財務活動CF	-173	-242	-69	168	-350	-518

資本的支出、減価償却費、研究開発費



(単位：億円)

発表日(年/月/日)

	1-2Q		
	FY25	FY26	前期比
	a	b	増減 b-a
資本的支出	589	408	-181
精密・電子	247	123	-124
エネルギー	71	96	+24
建築・産業	58	62	+3
インフラ	4	3	-1
環境	16	11	-5
その他、調整	190	112	-78
減価償却費	160	204	+44
精密・電子	45	60	+14
エネルギー	27	35	+8
建築・産業	35	41	+5
インフラ	5	9	+4
環境	3	7	+3
その他、調整	42	50	+7
研究開発費	104	120	+16
精密・電子	55	58	+3
エネルギー	10	18	+7
建築・産業	25	25	-0
インフラ	3	2	-0
環境	9	16	+6

	1-4Q				
	FY25	FY26 旧計画	FY26 計画	前期比	旧計画比
	c	26/05/15 d	26/08/14 e	増減 e-c	増減 e-d
	1,007	990	990	-17	-
	340	180	210	-130	+30
	145	260	260	+114	-
	150	160	160	+9	-
	15	20	10	-5	-10
	21	20	20	-1	-
	333	350	330	-3	-20
	348	420	420	+71	-
	99	120	120	+20	-
	55	60	70	+14	+10
	75	80	80	+4	-
	14	10	15	+0	+5
	12	10	15	+2	+5
	90	140	120	+29	-20
	232	250	250	+17	-
	120	110	110	-10	-
	26	60	60	+33	-
	55	40	40	-15	-
	7	10	10	+2	-
	22	30	30	+7	-

E : 環境

「CDP2025サプライヤーエンゲージメント評価」において2年連続でA評価を獲得

2026/5

世界初、液化水素運搬船用カーゴポンプの型式承認を取得

2026/7

S : 社会

熊本県和水町で排水ポンプパッケージの実排水訓練と操作説明会を実施
～水害から地域を守る防災・減災対策に貢献～

2026/6

IR活動

証券アナリスト向けマネジメントミーティングを開催

2026/5

「荏原グループ統合報告書2026」を発行

2026/6

2026年度個人株主様向け藤沢工場見学会を実施

2026/7

EBARA IR Day 2026 を開催

2026/7

資料	開示日	ポイント
統合報告書2026 事業別ページ	2026/06/30	財務・非財務目標、経営戦略、製品、主な対面市場、最終製品、業界シェア・主な実績、生産拠点所在地、競合企業、地域別売上構成比・サービス&サポート比率、商流、強み、市場環境 等
長期ビジョン「E-Vision2035」 中期経営計画「E-Plan2028」	2026/02/13	財務・非財務目標、事業ポートフォリオ、キャッシュフロー、価値創造ストーリー 等
IR Day2026 精密・電子カンパニーの中長期戦略と半導体の進化を支える技術力	2026/07/14	半導体市場の技術ロードマップに沿った当社の成長機会 CMP装置：製品需要拡大ドライバー、ハイブリッドCuボンディングやBS-PDNへの対応、収益性拡大ドライバー コンポーネント：省エネ・省フットプリント・インテグレーション
IR Day2026 エネルギーカンパニーの中長期戦略とサステナビリティ市場への取り組み	2026/07/14	LNG事業強化、S&S事業強化、水素、アンモニア、CCUS向け製品の開発・市場投入、設備投資動向
IR Day2026 建築・産業カンパニーの事業ビジョンと中長期戦略	2026/07/14	事業構造変革（既存事業の効率化×成長事業の取り込み）、地域別・市場別戦略（半導体市場向け産業チラーやデータセンター市場向け冷却ポンプ）
三菱電機の三相モータ事業譲受	2025/11/13	産業機械に対する省エネニーズが高まる中、高付加価値領域である製品開発・設計領域と販売・サービス領域を強化

免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。